

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	微分積分学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	1032		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 3		
開設学科	情報工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		3		
教科書/教材	「新微分積分Ⅰ,Ⅱ」(大日本図書)、「新 微分積分Ⅱ 問題集」(大日本図書)。						
担当教員	南 貴之						
到達目標							
微分積分の応用、偏微分、重積分、1階微分方程式の計算ができるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 微分積分の応用			微分積分の応用の計算ができる。	簡単な微分積分の応用の計算ができる。		微分積分の応用の計算ができない。	
評価項目2 偏微分・重積分			偏微分・重積分の計算ができる。	簡単な偏微分・重積分の計算ができる。		偏微分・重積分の計算ができない。	
評価項目3 微分方程式			1階微分方程式を解くことができる。	簡単な1階微分方程式を解くことができる。		1階微分方程式を解くことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この教科では、微分積分学Ⅰに引き続き、微分積分のより進んだ内容と応用(偏微分、重積分)を学習する。						
授業の進め方・方法	指定教科書にそって学習内容を解説して行く講義形式。各自の自主的な学習が必要なの(いうまでもなく、練習問題を通して学習内容の定着を目指す。前期は第2学年「微分積分学Ⅰ」の続きを学習する。後期は偏微分及び2重積分を取り扱う。基本的な概念の理解の上で、さまざまな計算ができることを重視する。						
注意点	オフィスアワーは火曜						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、媒介変数表示、面積、曲線の長さ		曲線を媒介変数で表すことができる。D1:3 媒介変数で表された曲線で囲まれた図形の面積が計算できる。D1:3 媒介変数で表された曲線の長さを求めることができる。。D1:3		
		2週	広義積分		簡単な広義積分の計算ができる。D1:3		
		3週	数列の極限		数列の極限が計算できる。D1:3		
		4週	級数		簡単な級数が計算できる。D1:3		
		5週	テイラー展開		関数のテイラー展開が計算できる。D1:3		
		6週	マクローリン展開		関数のマクローリン展開が計算できる。D1:3		
		7週	テイラー展開		関数のテイラー展開が計算できる。D1:3		
		8週	オイラーの公式		オイラーの公式を利用して計算できる。D1:3		
	2ndQ	9週	前期中間試験		今までの内容を総合的に使うことが出来る。D1:3		
		10週	試験問題の解答、2変数関数		2変数関数の定義を理解できる。。D1:3		
		11週	2変数関数とその極限		2変数の極限を計算できる。D1:3		
		12週	連続性・偏導関数		2変数関数の連続性を判定できる。 偏動関数の計算ができる。D1:3		
		13週	接平面と全微分		曲面の接平面が計算できる。 関数の全微分が計算できる。D1:3		
		14週	合成関数の偏微分		2変数関数の合成関数について偏導関数が計算できる。 D1:3		
		15週	演習		偏微分に関する問題を解くことができる。D1:3		
		16週	前期末試験		今までの内容を総合的に使うことが出来る。D1:3		
後期	3rdQ	1週	試験問題の解答、高次偏導関数		2変数関数の高次偏導関数が計算できる。 D1:3		
		2週	テイラーの定理		2変数関数のテイラーの定理が理解できる。D1:3		
		3週	極値		2変数関数の極値を計算できる。D1:3		
		4週	重積分の定義		長方形領域、一般の領域における重積分の定義が理解できる。D1:3		
		5週	重積分の計算		一般の領域における重積分が計算できる。D1:3		
		6週	重積分の変数変換		重積分の変数変換を用いて計算ができる。D1:3		
		7週	広義積分		重積分における広義積分の計算ができる。D1:3		
		8週	後期中間試験		今までの内容を総合的に使うことが出来る。D1:3		
	4thQ	9週	試験問題の解答、1階変数分離形微分方程式		1階変数分離形微分方程式を解くことができる。D1:3		
		10週	1階同次形微分方程式		1階同次形微分方程式を解くことができる。D1:3		
		11週	1階線形微分方程式		1階線形微分方程式を解くことができる。D1:3		
		12週	定数係数2階線形微分方程式(斉次)		斉次定数係数2階線形微分方程式を解くことができる。 D1:3		
		13週	定数係数2階線形微分方程式(非斉次)		非斉次定数係数2階線形微分方程式を解くことができる。 D1:3		
		14週	いろいろな線形微分方程式		いろいろな線形微分方程式を解くことができる。D1:3		

		15週	演習	いろいろな微分方程式を解くことができる。D1:3			
		16週	後期末試験	今までの内容を総合的に使うことができる。D1:3			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	数学	数学	数学	簡単な場合について、曲線で囲まれた図形の面積を定積分で求めることができる。	3	前1,前7	
				簡単な場合について、曲線の長さを定積分で求めることができる。	3	前2,前8	
				2変数関数の定義域を理解し、不等式やグラフで表すことができる。	3	後1	
				合成関数の偏微分法を利用して、偏導関数を求めることができる。	3	後4	
				簡単な関数について、2次までの偏導関数を求めることができる。	3	後5	
				偏導関数を用いて、基本的な2変数関数の極値を求めることができる。	3	後6	
				2重積分の定義を理解し、簡単な2重積分を累次積分に直して求めることができる。	3	後7	
				極座標に変換することによって2重積分を求めることができる。	3	後11	
				2重積分を用いて、簡単な立体の体積を求めることができる。	3	後10	
				微分方程式の意味を理解し、簡単な変数分離形の微分方程式を解くことができる。	3	前13,前14	
				簡単な1階線形微分方程式を解くことができる。	3	前15	
				定数係数2階斉次線形微分方程式を解くことができる。	3	前15	
				簡単な1変数関数の局所的な1次近似式を求めることができる。	3	前6	
				1変数関数のテイラー展開を理解し、基本的な関数のマクローリン展開を求めることができる。	3	前5,前6	
				オイラーの公式を用いて、複素数変数の指数関数の簡単な計算ができる。	3	前5	
	自然科学	物理	力学	簡単な運動について微分方程式の形で運動方程式を立て、初期値問題として解くことができる。	3	前13	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	10	0	100
基礎的能力	90	0	0	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0